

消防署から

ツバメ夫婦が 子育て

♡ 消防署玄関わき ♡

ろうかで見守っていた。すると、ツバメ夫婦はせつせと土を運び続け消防庁舎に負けないくらいいっぱいな巣を作り上げた。

また、指令室や車庫は夜間電灯はつけるし、害虫駆除のため果のすぐそばには電撃殺虫器も取り付けられている。このような場所でも果たして無事にひなが産まれるだろうか心配したが、六月中旬になって、小さな首を出しえさを求める四、五羽のかわいい子ツバメが見えだした。昭和四十八年の消防庁舎落成以来、初めての出来事である。

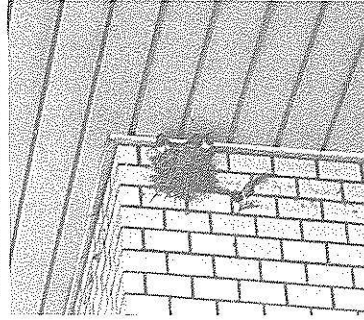
五月始めごろ、消防署受付通信室前にツバメの夫婦が飛来するようになった。職員一同、タイル張りの壁に巣を作ることができた。

今年は、県下初の高速道路が開通する。北部地域の消防力の強化のため職員も十人増員し、北部出張所も開設される記念すべき年である。

職員一同、人々に愛されるツバ

メのように迅速、適切な消防活動を行い、市民に親しまれる職員になろうと心を新たに、その成長を毎日、愛情をこめて見守っている。

この記事が掲載されるころは、元気に巣立っていることと思われます。



子ツバメにえさを与える親ツバメ

市立中央公民館

洋裁教室・中国語講座の 受講生を募集します

市立中央公民館では、次の講座の受講生を募集します。

洋裁教室（二次募集）

○開講日・9月3日（木）、午前9時30分～午後3時30分

○場所・旧大蔵女学院

○講師・木下真理子氏

○定員・10人

○申し込み先・8月22日までに

ハガキで、〒783 南国市大

坪里一二五 市立中央公民館

まで。

※希望者多数の場合は抽選で決

定します。

中国語講座

○開講日・9月4日（金）、午後7時～9時

○場所・中央公民館

○講師・川添功氏

○申し込み先・8月20日までに

市立中央公民館（電話3498）



南国歌壇

誰故に八千八声を山あいの
夜半のしじまを月に影して

中谷 北村照美

藍染の浴衣二枚を縫い終り

植野 今原文子

嫁ぎし娘の幸せ祈る

大橋に添いて船行く瀬戸の旅

波焔めきて潮風涼し

廿枝 岡林きよ

うぶ舌もきわまる命もその中に
まもりて匠大の白亜をびえる

亀岩 島本栄

知られずに紫菀の咲きており

白きレースの下着干す場所

大坪 田所志な

血圧の高まる不安こらえつつ

締め切り迫る歌作に挑む

下野田 中島富義

南国柳壇

駒犬も汗流してる夏まつり

十市 沢村鶴一

夏祭り手を引いた娘に支えられ

稲生 西川照子

土佐の魚美味いに驚く京の人

西山 竹村寿賀

雀鳴く今日も元気でニュース聞く

里改田 下総金子

南国俳壇

受話器おき一気にはしる炎暑かな

福井英子（花おら俳句会）

天よりも地の夕焼や山いちこ

福井澄子（ ）

銀やんま海へみちびくひかりあり

楠瀬秀子（ ）

黒潮を翔ち飛魚の光りとと

井上さえ（柿の実会）

早稲の花咲き盛りつつ陽はのぼる

竹田明代（ ）

露散と云ふひそやかな動きあり

大谷美恵（ ）

笛吹いて青年虹を濃ゆくする

溝淵電紀男（南国市民句会）

サーファーの滴り昼顔の花の上

山崎光子（ ）

針脈の小さな痛み梅雨じめり

川田玉恵（ ）